

令和6年度 農作物病害虫発生予察12月月報

令和7年(2025年) 1月6日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
12.1	8.9	8.4	0.5	15.5	13.8	1.7	4.4	3.8	0.6
12.2	6.4	7.3	△ 0.9	11.5	12.6	△ 1.1	2.5	2.9	△ 0.4
12.3	5.5	6.6	△ 1.1	10.9	11.7	△ 0.8	1.1	2.2	△ 1.1
12.4	4.3	6.1	△ 1.8	10.2	11.2	△ 1.0	0.2	1.8	△ 1.6
12.5	4.8	5.7	△ 0.9	10.1	10.9	△ 0.8	0.2	1.4	△ 1.2
12.6	5.6	5.2	0.4	10.2	10.5	△ 0.3	1.7	0.9	0.8
平均・計	5.9	6.6	△ 0.6	11.4	11.8	△ 0.4	1.7	2.2	△ 0.5
月・半旬	降 水 量 (mm)			日 照 時 間 (h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
12.1	0.0	13.5	△ 13.5	26.1	20.7	5.4			
12.2	2.0	13.0	△ 11.0	19.2	19.4	△ 0.2			
12.3	4.0	11.3	△ 7.3	19.8	18.3	1.5			
12.4	6.0	10.1	△ 4.1	23.4	18.0	5.4			
12.5	2.0	10.0	△ 8.0	25.7	18.6	7.1			
12.6	4.5	11.5	△ 7.0	23.0	23.3	△ 0.3			
平均・計	18.5	69.4	△ 50.9	137.2	118.3	18.9			

II 作物の生育状況

- (1) キャベツ : 定植が早いものも高温・乾燥で生育が遅れ、収穫開始時期が遅れた。その後、9月中旬以降の気温の低下に伴い生育が順調に進んだため、12月以降は出荷量が多くなった。加工用の出荷は11月下旬から始まっており、安定的に出荷されている。
- (2) イチゴ : かおり野は、1番果の花芽分化時期に高温が続いたため、出蕾がばらついた。出荷は例年より遅い12月中下旬から増加した。2番果は多くの地域で出蕾～開花期に入っており、1月下旬以降に出荷量が増加する見込み。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2024年12月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ (収穫物被害調査: 18ほ場) 紫斑病	発生ほ場率61.1%(平成22.2%)、発病粒率1.2%(平成0.4%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	46
			少	461
			計	507
べと病	発生ほ場率11.1%(平成27.0%)、被害粒率0.1%(平成0.4%)でやや少なかった。	県内全域	少	92
ウイルス病	発生ほ場率22.2%(平成1.0%)、被害粒率0.5%(平成0.0%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中	46
			少	138
			計	184
サヤムシガ類	発生ほ場率5.6%(平成18.0%)、被害粒率0.0%(平成0.2%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	46
シロイチモジマダ ラメイガ	発生ほ場率5.6%(平成8.1%)、被害粒率0.1%(平成0.2%)で平成並みであった。	県内全域	少	46
マメシンクイガ	発生ほ場率11.1%(平成18.5%)、被害粒率0.4%(平成0.5%)で平成並みであった。	県内全域	中	46
			少	46
			計	92
フタスジヒメハムシ	発生ほ場率100%(平成90.5%)、被害莢率9.7%(平成7.0%)、被害粒率6.5%(平成3.7%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多	230
			中	277
			少	323
			計	830
吸実性カメムシ類	発生ほ場率100%(平成74.4%)、被害粒率12.1%(平成5.6%)で平年に比べ多かった。	県内全域	甚多	92
			多	92
			中	369
			少	277
			計	830

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ (調査ほ場数: 中旬10、下旬7) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成4.2%)、発病株率0%(平成0.4%)、発病度0(平成0.1)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成7.1%)、発病株率0%(平成0.4%)、発病度0(平成0.1)で平成並みであった。	—	—	
菌核病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0%(平成6.0%)、発病株率3.2%(平成0.3%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6%(平成12.3%)、発病株率0.9%(平成0.7%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	14
			少	41
			計	55

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では発発生ほ場率0% (平年4.5%)、発病株率0% (平年1.3%)、発病度0 (平年0.3) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年2.3%)、発病株率9.4% (平年1.3%)、発病度2.6 (平年0.3) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 14
萎黄病 軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
イチゴ (調査ほ場数:20) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.0%)、発病株率0% (平年0.8%)、発病果率0% (平年0.2%) で平年に比べ少なかった。	—	—
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年19.5%)、発病株率0.4% (平年2.5%)、発病葉率0.1% (平年0.7%)、発病果率0% (平年0.3%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 5
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年0.8%)、発病株率0.1% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.1%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.8%)、発病株率0% (平年0.2%) で平年に比べ少なかった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年25.7%)、寄生株率6.3% (平年3.9%) で平年に比べやや多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多 5 少 20 計 25
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.0% (平年30.5%)、寄生株率12.9% (平年9.0%) で平年に比べやや多かった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚 5 多 5 少 25 計 35
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.5%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年25.5%)、寄生株率0% (平年3.6%) で平年に比べ少なかった。	—	—
オオタバコガ、 シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

2 野菜

2024年12月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イチゴ アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年8.5%)、寄生花率0.7% (平年0.5%) で平年に比べやや多かった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	中	10
			少	10
			計	20

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)

TEL (0835)28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp